

平成 24 年度 事業報告書

平成 24 年 3 月 23 日から平成 24 年 12 月 31 日まで

一般社団法人エル・システムジャパン

1. 事業実施の方針

相馬市復興計画にある「音楽を通して生きる力を育む事業」の実施にあたって、市教育委員会からの要請、及び5月7日に締結された相馬市とエル・システムジャパンの協定書に基づいて、下記の事業を実施した。また、これらの支援活動は、ベネズエラ・シモンボリバル音楽財団と7月24日に結んだ了解覚書によっても、日本国内におけるエル・システム式（理念に基づく）音楽教育として認識されることとなった。これらの事業実施のために必要な各種広報、資金調達活動に関しても報告する。

2. 事業の実施に関する事項

非営利型の一般社団法人法に関わる事業を実施した。

相馬事業

事業名	事業内容	期間	場所	受益者	支出見込み額 (千円)	支出額 (千円)
楽器修繕・購入	中一小器楽部への支援（修繕、購入）は、「コバケンとその仲間たちオーケストラ」が直接、地元の楽器店へ支援をする形になった。同様に、桜丘小マーチング部への楽器支援も、日本ユニセフ協会からの直接支援を調整。新規に始まった八幡小バイオリン教室への支援（個人寄贈）、及び、今後の子どもオケの設立を想定した、現在の中学生向けの楽器が主な支援対象（サンワールドビジョンより）。	4 ～ 12 月	中一小（27人）、桜丘小（43人（合唱）、45人（金管）、八幡小（18人）	左記の小学校の児童	4,000	3,090
音楽専門指導者の派遣	中一小、八幡小における弦楽器指導、桜丘小、及び市内各校授業における合唱指導、桜丘小、及び市内各校授業における金管楽器指導を中心に、他は、磯部小、玉野小からの要請に応じて、地元人材（主に管打楽器）で対応。	4 ～ 12 月	中一小、桜丘小、八幡小、磯部小、玉野小	左記の小学校の児童	2,500	2,061
エル・システム式プログラムの実施に関する技術支援、管	エル・システムジャパンの代表理事、他必要とされる外部専門家による技術支援、及び、相馬コーディネーターによる管理運営。	7 ～ 12 月	中一小、桜丘小、八幡小、他市内対象小学校	左記の小学校の児童	5,514	3,100

事業名	事業内容	期間	場所	受益者	支出見込み額 (千円)	支出額 (千円)
理運營業務						
他、上記を実施するための必要な支援	エル・システム関連の必要な技術の向上のための研修会(相馬:7月25~28日(地元教員・関係者20名参加))を、米国のエル・システム関係者の協力のもと開催。	7月25~28日	中一小、桜丘小、他市内対象小学校	左記の小学校の児童	2,600	1,943

広報資金調達事業

事業名	事業内容	期間	場所	受益者	支出見込み額 (千円)	支出額 (千円)
各種広報活動	英国視察(スコットランド Big Noise、イングランド Harmony Lambeth プロジェクト、サウスバンクセンター会議参加)。アブレウ博士、メンデス氏(シモンポリバル音楽財団事務局長)と会談	6月18~25日	スターリング、ロンドン		300	252
	米国エル・システム関係者の協力のもと、明治学院大学とエル・システムシンポジウム、レセプションを共催(一般80名、明学生約20名参加)	7月24日	明治学院大学		1,200	1,010
各種資金調達活動	ドイツ訪問(IPPNW/ベルリンフィル相馬支援チャリティーコンサート)(約1000人参加)(コンサートプレイベント相馬報告会)	9月15~20日	ベルリン		250	226
	設立記念チャリティーガラレセプション with シモンポリバル弦楽四重奏団 @アークヒルズクラブ(66名参加)	10月19日	アークヒルズクラブ		650	600
	他、恒常的な資金調達活動(マーケティング、オンライン寄付システム構築、運営(Bokinchan))	4~12月			1,400	1,341